

# 建設物価 建設資材物価指数<sup>®</sup> 2023年12月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

## 1. 指数の動向（全国平均）

建設総合(全国平均)で136.0と前月比+0.7ポイント(+0.5%)と、8カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+4.7ポイント(+3.6%)。部門別では、**建築部門**が136.4と前月比+0.8ポイント(+0.6%)、**建築補修**が132.1と前月比+0.9ポイント(+0.7%)、**土木部門**が137.2と前月比+0.5ポイント(+0.3%)となった。

金属製品、電気機械、その他の工業製品、紙・木製品などの11分類がプラスに寄与した。金属製品は「建築用金属製品」、電気機械は「産業用電気機器」、その他の工業製品は「その他のゴム製品」などが主なプラス寄与品目であった。一方、マイナス寄与は、鉄鋼の1分類であり、一部の都市において、異形棒鋼やH型鋼などが主なマイナス寄与品目であった。

## 2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

### 【金属製品】 建築用金属製品（スチールドア）

原材料の金属価格の高騰を受け、メーカーが販売価格の見直し、その価格が全国的に浸透し、プラスに寄与

### 【電気機械】 産業用電気機器（変圧器）

原材料費および輸送コストの増加に伴うメーカーの値上げが全国的に浸透し、プラスに寄与

マイナス寄与

### 【鉄鋼】 鉄鋼（異形棒鋼、H型鋼）

前月に引き続き、需要の低迷による安値が一部の都市にて散見され、棒鋼や形鋼の小幅下落がマイナスに寄与

## 3. 都市別の動向（建設総合部門）

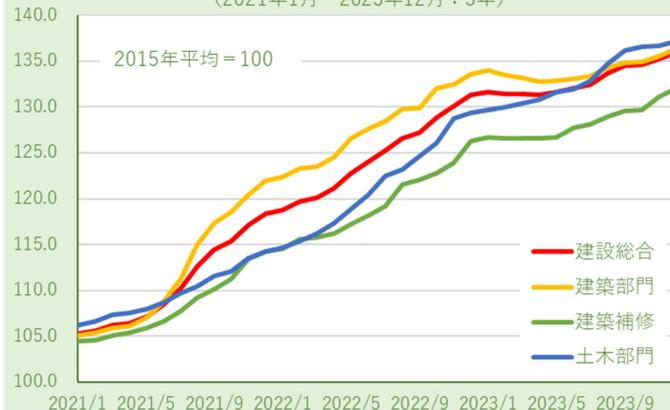
前月からの指数動向を都市別にみると、【札幌】(前月比+0.7%)では、製造・輸送コストの増加を転嫁すべく、メーカーが打ち出したアスファルト混合物の値上げが市場に浸透したことが、指数動向にプラスの影響となった。

【新潟】(同+0.6%)では、クラッシュラン・粒度調整砕石や、インターロッキングブロックやヒューム管などの原材料の値上がりや輸送コスト増加を背景とした価格の見直しが市場に浸透し、プラスに寄与した。

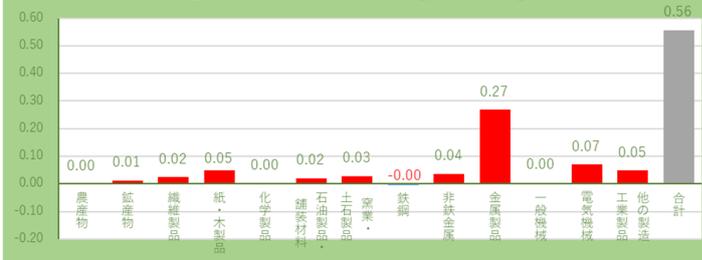
一方、【福岡】(同+0.5%)では、合板や鉄鋼製品が需要低迷により小幅下落したものの、砂利などの製造コストの増加による値上げが上回り、プラスに寄与した。

## 建設資材物価指数【全国平均】

(2021年1月～2023年12月：3年)



## 建設総合 前月比寄与度【全国平均】



## 建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



## 各地の建設総合部門の指数【12月分】



一般財団法人  
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp